

## 単元名 言葉を選んで、短歌を作ろう

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。  
 (2) 構成や書き表し方などに着目して、表現を工夫して短歌を整えることができる。  
 (3) 見たり、聞いたりしたことや経験したこと、想像したことを基に短歌を作ろうとする。

## 標準的な展開例

06010111\_001

【教材名】たのしみは (P. 60～P. 63)

【準備等】知多の友、清書を書く紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 生活の中で楽しい気持ちになるときや、ほっとするときのことを思い出し、短歌を作る学習計画を立てる。</p> <p>★「たのしみ」を集めて、短歌を作ろう。</p> <p>○教科書(P. 60)や知多の友(P. 4)を読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>○短歌の表現の工夫やよさについて話し合う。</p> <p>○日常生活の中で、似た場面はないか考える。</p> <p>2 短歌のきまりを確認し、表現を工夫して短歌を作る。</p> <p>○「たのしみは」で始まり、「時」で結ぶ短歌を作るための題材を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今朝、起きてからのこと</li> <li>・この一週間のこと</li> <li>・家の人や友達のこと</li> <li>・季節のこと</li> <li>・衣食住のこと</li> <li>・趣味のこと</li> </ul> <p>○短歌の基本ルールを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五・七・五・七・七の三十一音からなる。</li> <li>・小さい「つ」やのぼす音、「ん」も一音と数える</li> </ul> <p>○五感を使った表現を工夫し、短歌を作る。</p> <p>○作った短歌の表現を工夫する。</p> <p>3 短歌を清書し、読み合う。</p> <p>○作った短歌を短冊に書く。</p> <p>○できた作品を読み合い、友達の表現の工夫について発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな情景が目に見えたか。</li> <li>・どんなことが伝わってきたか。</li> <li>・どんな表現が素敵か。 など</li> </ul>	<p>・本単元は「知多の友」に掲載されているので十分に活用したい。</p> <p>・日常の中で見たり、聞いたり、経験したりしたことを基にして、短歌を作ることを確認させる。</p> <p>・教科書(P. 61)の「たのしみは」の短歌を音読し、共通していることや気付いたことを発表させ、日常生活のささやかな感動を歌にしていることに気付かせる。</p> <p>・自分の生活を振り返らせることで、短歌を作るときの題材について考えさせる。</p> <p>・知多の友(P. 5)を使い、短歌にしたいことを書かせる。</p> <p>・生活のさまざまな場面を思い起こして、「たのしみ」を探させるようにする。</p> <p>【評】題材を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・日常を掘り起こす際の観点については、知多の友(P. 5)を使い、より具体的に書く材料を考えさせるようにする。</p> <p>・知多の友(P. 7)の参考作品についても触れ、題材選びの参考にさせる。</p> <p>・教科書(P. 62)や知多の友(P. 5)で短歌のきまりを確認させる。</p> <p>・知多の友(P. 6)に書かせる。</p> <p>・字余り等については許容し、形式にとらわれず楽しく作らせる。</p> <p>【評】短歌を作る活動を通して、短歌のきまりを確かめ、言葉を選んで短歌を作る「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】短歌を作る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・使った言葉を別の言葉に言い換えたり、並べ方を変えたりして、自分の見つけた「たのしみ」がより伝わるように、作った短歌を見直しさせる。</p> <p>【評】作った短歌を見直す活動を通して、よりよい表現へと工夫する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・用紙を用意しておき、作った短歌を清書させる。</p> <p>・具体的な観点を示しておき、友達の短歌のおもしろいところや、工夫しているところなどを、知多の友(P. 7)に書かせる。</p> <p>・肯定的な気持ちの交流をするように助言する。</p> <p>【評】作った短歌を読み合う活動を通して、表現の工夫に着目する「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】